

やさい週間情報(第9号)

平成29年6月9日(金)

全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	7,000~6,500	7,000~6,500	—	1本売り (2L・L) 498~398円	本県産中心に北海道産の販売。 野菜全般に厳しい販売状況が続いているなか、ながいもについては引続き堅調な販売となっている。 売場はカット販売中心で、C品への引合いが強い状況が続いているが、B4・3LやM級以下についても幾分動きは良化している。 今週末、来週末と「むぎとろの日」の宣伝会を実施する予定で、消費拡大および荷動きの改善に努める。
		A3L	7,000~6,500	7,000~6,500			
		A2L	6,000~	6,000~			
		A L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		A M	4,500~4,000	4,500~4,000			
		B4L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		B3L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		B2L	5,500~	5,500~			
		B L	4,800~4,500	4,800~4,500			
		B M	4,200~	4,200~			
		C2L	4,700~4,500	4,700~4,500			
C L	4,200~4,000	4,200~4,000					
名古屋	本県産 北海道産	A4L	6,500	6,800~6,500		1本売り 598~498円	本県産・北海道産中心の販売となっている。 総体量が少ない中、需要期を迎え売場が拡大していることから、カット販売向けで値頃感のあるC品を中心に上げ基調となっている。 今週末から来週にかけて消費宣伝も予定しており、1本売り用の2L・L、C品をはじめ各等階級で一段上げての販売が見込まれ、最需要期に向け引合いの強い状況が続く見込み。
		A3L	6,500	6,800~6,500			
		A2L	6,000	6,200~6,000			
		A L	5,200	5,200			
		A M	4,200	4,600~4,200			
		B4L	6,000	6,200~6,000			
		B3L	6,000	6,200~6,000			
		B2L	5,500	5,700~5,500			
		B L	4,700	4,700			
		B M	4,000	4,400~4,000			
		C2L	4,500~4,400	4,700~4,600			
C L	4,000	4,300~4,200					

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	6,800~6,500 6,800~6,500 6,200~6,000 5,300~5,000 6,000~5,800 6,000~5,800 5,600~5,400 4,800~4,500 4,800~4,500 4,200~4,000	6,800~6,500 6,800~6,500 6,200~6,000 5,300~5,000 6,000~5,800 6,000~5,800 5,600~5,400 4,800~4,500 4,800~4,500 4,200~4,000		カット 68~98円/100g	北海道産を中心に本県産の販売。 北海道産・本県産とも、入荷量が少ない状況が続いている。量販店の売り場はカット売が主体となっているため、太物とC品の引合いは強く、1本売で単価の高いL級のみで荷動きが鈍い状態が続いている。また、価格は保合推移となっている。 来週は「麦とろの日」の消費宣伝を実施することとしており、引続き、太物とC品を中心に堅調な販売が続く見込みとなっている。
九州	本県産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L	7,000~6,800 7,000~6,800 6,500~6,300 6,000~5,800 6,000~5,800 6,000~5,800 5,500~5,300 5,200~5,000 4,500~4,300	7,000~6,800 7,000~6,800 6,500~6,300 6,000~5,800 6,000~5,800 6,000~5,800 5,500~5,300 5,200~5,000 4,500~4,300		カット 100g 98~78円	土物類が極端に荷動きが鈍い中、ながいもも入荷量は少ないが、等階級によっては引合いが弱くなりつつある。 量販店の売り場はカット販売主体となっているが、g数を少なくし、売価を抑えた販売となっている。 九州管内は今週梅雨入りとなり、青果物全般に荷動きが鈍くなることが予想されるため、積極的な消費宣伝により、消費の喚起を図っていく。
東北	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	6,500~ 6,500~ 6,200~ 5,200~5,000 6,000~5,800 6,000~5,800 5,000~5,300 4,800~4,500 4,500~4,200 4,000~	6,500~ 6,500~ 6,200~ 5,200~5,000 6,000~5,800 6,000~5,800 5,000~5,300 4,800~4,500 4,500~4,200 4,000~	なし	1本売り 480~円 カット 100g 84~78円	本県産中心の販売。 気温の上昇から、ながいもの需要期ではるものの、売価高から末端の荷動きは鈍く、カット販売中心の棚となっていることからC品については底上げ販売。A・B品については入荷量の少なさから市況は保合推移。 来週以降についても大幅な増量は見込めないため、堅調な販売は続く見通し。

品名 に ん に く

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 (CA) 本県産 (生)	A 2 L A L A M A 2 L A L A M	2,000~ 2,200~2,000 2,200~2,000 1,400~1,200 1,400~1,200 1,200~1,100	2,000~ 2,200~2,000 2,200~2,000 1,300~ 1,300~ 1,100~	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 スペイン産 1 P 158~98 円	<p>本県産氷温品・CA品と西南暖地産の生品の販売となっている。</p> <p>香川県産の生品の出荷はほぼ終了し、本県産のCA品の出荷はほぼ終了となった。関東近在産の生品、および本県産の生品の出荷が徐々に増えてきており、数量の増加とともに日々相場は軟調推移となっている。CA品の販売についても荷動きは鈍くなってきている。</p> <p>香川県産の乾燥品も一部出荷開始となっているが、本格的な当管内への入荷は 6/15 頃を見込んでいる。来週末以降、生品の販売は更に苦戦するものと思われる。</p>
大阪	本県産 中国産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,200~2,000 2,200~2,000 2,200~2,000 2,000~ 2,000~1,800 2,000~1,800	(生) 1,300~ 1,300~		L 1 P 298 円	<p>本県産中心の販売。</p> <p>本県産が終盤で入荷量は減少しており、価格は保合推移となっているものの、L・M級を中心に流通在庫が溜まっており、荷動きは鈍い状態が続いている。</p> <p>来週からは生品が入荷する見込みとなっているが、他県産の入荷はほとんどないものの、流通在庫の多さから弱気配となる見込み。</p>
九州	本県産	A 2 L A L	2,200~2,000 2,400~2,200	2,200~2,000 2,400~2,200		L 1 P 298~258 円	<p>本県産の入荷は概ね今週で終了となったものの、安価な転送案内と流通在庫の多さから、極端に荷動きが鈍くなっている。</p> <p>来週も徐々に価格を下げ流通在庫の軽減を図るが、荷動きの回復までは至らない見込み。</p>

品名 にんにく No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東北	本県産	A 2 L	2,000～	2,000～	なし	L 1 P 298円	<p>本県産中心の販売。</p> <p>本県産の乾燥品の入荷は、終盤から少なく荷動きが鈍い中ではあるが、市況は保合推移。</p> <p>来週について、引続き入荷量の少ない乾燥品は保合での販売となるものの、入荷増量が見込まれる生品については価格を下げた販売となる見込み。</p>
		A L	2,200～2,000	2,200～2,000			
		A M	2,200～2,000	2,200～2,000			
		(生)					
A 2 L	1,400～1,300	1,400～1,300					
A L	1,400～1,300	1,400～1,300					

品名 アスパラガス

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L 100g	150～140	150～140			<p>東北産春物、九州産立茎物の販売となっている。</p> <p>東北各産地の出荷も終盤となり、各産地とも出荷量は前週よりさらに減少し、相場についても一段上げての販売となった。</p> <p>長崎県産をはじめ西南暖地の立茎栽培もの出荷開始となるが、総体量はそれほど多くない見込みから、強保合での販売となる見込み。</p>
		150g	240～200	240～200			
大阪	広島県産 岡山県産 熊本県産 本県産	150g A 2 L	200～	200～			<p>九州産中心に本県産の販売。</p> <p>九州産の夏芽と本県産の販売となっているが、北海道産の入荷が終了したことから、本県産が減量したことから、全体量としては落ち着いており、価格は保合で推移した。</p> <p>来週についても、極端な増量はないとの予想があることと、安定した引合いがあることから、価格は引続き保合推移となる見込み。</p>
		100g A L	150～	150～			
		A M	130～	130～			
		A S	90～	90～			
東北	本県産 東北産	100g A L	150～ 140	150～ 140		—	<p>本県産中心の販売。</p> <p>本県産については、立茎作業に入る地域もあり、入荷量が減少しており、市況は強含み推移となっている。</p> <p>来週についても、本県産の入荷量は減少傾向となることから、市況は強保合推移となる見込み。</p>
		150g A L	200～ 160	160～			

品名 きぬさや

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	1 kg	3,000~2,500	3,000~2,500			各産地とも天候不順影響から総体量は少なく、今週の販売については底上げしての販売となった。 来週についても東北産地は曇天低温の影響から出荷量は少ないことから、相場は強保合で推移する見込み。
名古屋	本県産 福島産	A L A M	2,500~2,000 3,000~2,500	2,500~2,000 3,000~2,500			本県・福島県産中心の販売となっている。 本県産については、日々安定した入荷となったうえ、品質の良さから堅調な販売となった。 来週については、天候も回復し今週に比べ数量が増えるものの、他産地の入荷が少ないことから保合での販売が見込まれる。
大阪	福島県産 広島県産 本県産	A L A M	2,500~2,000 3,000~2,800	3,000~2,500 3,500~3,000			徳島県産・和歌山県産・本県産の販売。 福島県産が終了したことと、後続の北海道産・岩手県産が気温の低さから出荷開始とならなかったことから、入荷量が減少し、業務需要に回復の兆しがあることも手伝って価格は強含みで推移した。 来週については、出荷が後ズレしていた岩手県産の入荷が開始されるものの、出始めは少量となることから価格は強含みのままとなる見込み。
東北	本県産	A M	3,000~2,500	3,000~2,500		—	本県産中心の販売。 引続き本県産の入荷量が少なく、露地物の入荷も増えてこないことから、市況は強保合推移となっている。 来週については本県産露地物の入荷増が見込まれるものの、大幅な増量とはならないことから市況は保合推移となる見込み。

品名 だいこん

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	千葉県産 本県産	A 2 L A L A 2 L A L	1,000～900 1,200～1,000	1,000～900 1,200～1,000	—	1本 198～178円 ハーフカット 98円	本県産中心の販売となっている。 関東近在産の出荷は徐々に減少し、本県産についても、トンネルからべたがけの端境期となっている。週後半には総体量の少なさから相場も底上げしながらの販売となっている。 来週については本県産のべたがけの出荷も徐々に増え、北海道産の入荷も始まることから来週の販売については弱保合での販売となる見込み。
名古屋	本県産 愛知産	A 2 L A L	1,100～1,100 1,200～1,100	1,000～900 1,100～1,000		1本売り 178～198円	愛知県産が終盤、本県産中心の販売となっている。 本県産については、降雨や他農作業による作業の遅れから入荷が少なく、強保合での販売となった。 来週については、末端においても愛知県産から本県産へ切り替わるものの、出荷量も増える見込みから弱保合での販売が見込まれる。
大阪	和歌山県産 長崎県産 本県産	A 2 L A L	1,000～900 1,200～1,000	1,000～ 1,200～			北海道産・本県産の販売。 北海道産は気温の低さから太りが悪く、入荷が少なかったことから本県産の引合いが強まり、価格は強含みでの推移となっている。 来週についても、北海道産の入荷は少ない予想となっているが、本県産の入荷が不安定であることから同様の傾向が続くと思われ、価格は強含みで推移する見込み。
東北	関東近在産 本県産	A 2 L A L	1,000～800 1,100～1,000	1,000～800 1,100～1,000	—		本県産中心の販売。 本県産の入荷量は微増傾向。平年の入荷量と比べるとやや不足感があり、市況は強含み推移となっている。 来週については、本県産べたがけ作の入荷増量となるものの、大幅な増量とはならず、引続き引合いの強い状況が続く見込み。

品名 こ か ぶ

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 千葉県産	A 2 L A L 3玉結束	1,000～ 800 1,000～ 800 30～ 20	1,000～ 800 1,000～ 800 30～ 20			<p>本県産中心の販売。 千葉県産の出荷量については市場集約の関係もあり徐々に入荷量は落ち着いてきており、相場についても今週は底上げ推移となった。 千葉県産の数量が減ったことと本県産の数量も徐々に増えていることから産地の切り替えが進み、来週以降は強保合での販売となる見込み。</p>
名古屋	本県産 福井産	A 3 L A 2 L	900 900～ 800	900～ 800 900～ 800			<p>本県産中心の販売となっている。 今週前半は順調な出荷となったものの、後半は降雨や作型の端境から入荷が少なく、保合での販売となった。 他産地の入荷も減っていること、本県産の企画も組まれていることから来週についても概ね保合での販売が見込まれる。</p>
大阪	福岡県産 本県産	A 3 L A 2 L A L	1,000～ 1,200～1,000 1,000～	1,000～ 1,200～1,000 1,000～			<p>本県産中心の販売。 前段産地の残量は少なく、本県産の品質は安定して良いものの、安価な転送品の案内が多く、価格は弱保合で推移した。 来週については、徐々に注文が増えていることから、価格は強含みでの推移となる見込み。</p>
東北	本県産	A 2 L A L	1,000～ 800 1,000～ 800	1,000～ 900 1,000～ 900			<p>本県産中心の販売。 降雨の影響から入荷量が減少となったこと、本県産こかぶの売場が広がってきており、荷動きが回復していることから、市況は底上げの展開となっている。 来週についても入荷量は大きく変わらない見込みの中で、引続き積極的な販売となることから、市況は強含みの推移の見込み。</p>

品名 きゅうり

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	Aコン	1,800~1,600	1,800~1,600			<p>関東近在産中心の販売となっている。</p> <p>関東近在産については出荷終盤となっており、B品中心の入荷と天候不順による出荷量の伸び悩みもあり、総体量不足から堅調な販売となっている。</p> <p>福島県産等の東北産地の生育は平年より1週間程度遅れており、出荷量がまとまってくるのは6月中旬頃を見込んでいる。</p> <p>来週についても、入荷量の極端な増減はない見込みから保合での販売となる見込み。</p>

品名 ミニトマト

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	パック	140~130	140~130			<p>熊本県産および関東近在産の販売。</p> <p>熊本県産は出荷終盤となっており、数量は減少傾向。関東近在産についても、出荷ピークを過ぎており日々増減を繰り返しながらの出荷で、入荷の安定しない状況が続いている。</p> <p>来週については、東北産への引合いが強まることから相場は強含みの展開が予想される。</p>
	関東産	3Kバラパック	1,600 120~100	1,600 120~100			